

[061] 史淵表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2335118>

出版情報 : 史淵. 61, 1954-06-10. Faculty of Literature, Kyushu University
バージョン :
権利関係 :

彙報

史學懇話會

第六十五回 二月一日(月)於大會議室

今回は折よく御來學された京都大學教授田村實造氏にお願いして、北方民族世界と中國世界の歴史の運關の問題につき、御研究の一端を聴かしていただいた。熱心な質問も出て、盛會であつた。

第六十六回 二月八日(月)於大會議室

卒業論文構想發表

明治時代における日本労働運動の發展について

藤本 桂 史

第一革命期における歐露の農民運動

西 嶋 有 厚

日露戦争當時勃發した第一ロシア革命において巨大なエネルギーを發揮したヨーロッパ・ロシアの農民運動の起因はどこに求められるべきであるか?この農民運動をロシアの歴史的發展の獨自の合法的現象として捉えんとし、農民運動の時間的空間的分布、運動の諸形態、地域的差別性等を分析して、その原因に關する従来の不徹底な諸見解を批判しつゝ、それが當時ロシア農村社會の内部に歴史的に形成されつゝあつた矛盾そのものに求めらるべき事を明かにして、農業資本主義の土地所有諸關係に及ぼした諸影響よりその根本的矛盾が、中世的土地所有諸關係が温存され

る一方、農業に商品經濟と資本主義の道が開かれた結果生じた、舊い生産諸關係と新しい生産諸力との間のロシア獨自の形態の矛盾である事を結論づけたものであり、今後の研究の出發點をなすものである。

昭和二十八年卒業論文題目

國史學科

中世における松浦黨の變質過程に就て
道理の考察—平安時代・鎌倉時代に於ける—
大友氏の研究—鎌倉時代に於ける—
明治時代における日本労働運動の發展について
「藩政改革」試論

東洋史學科

五代楚國の國外貿易について
洪武三十年の所謂「遼東海運廢止」についての一考察

西洋史學科

十八世紀初期の英國木綿工業の考察
—ランカシャー地方について—
第一革命期におけるヨーロッパ・ロシアの農民運動
(一九〇五—〇七年)

ローマ共和制末期に於ける賃借地經營

—特に屬領シキリアの奴隸反亂と大土地所有の面から見て—

瀨野精一郎
長 洋一

藤井 賢三
藤本 桂史
前山 博

田籠 楠雄

吉田 早苗

古城 宏一

西嶋 有厚

馬場 典明

國史學科の動向

卒業生豫餞會

二月五日(金)午後六時より三畏閣において恒例の豫餞會を行
う。竹内・箭内・西尾・楡垣各先生以下一同こぞつて卒業生五君
の前途を祝福し、その健康と多幸を祈つて夜九時に及び、盛會で
あつた。なおこの日は朝から雪がちらつき、夕方には積雪をみ
て、送別の宴は殊に印象的であつた。

二十九年年度進學轉科學生

四月十二日(月)午前十時より文學部第二番教室において進學
式が行われ、次の諸君を當學科に迎えた。

片岡英輔、竹内チヅ子、田中友子、野口喜久雄、平野武裕、光
野忠幸、村岡隆、山尾勇三(以上進學)

福永俊一(英文學より轉科)

二十九年年度入學大學院學生

瀨野精一郎、長洋一(以上九大文學部) 原田重(熊本大法文學
部)

歡 迎 會

四月二十三日(金)午後五時より三畏閣において今年度進入學
生諸君のために歡迎の一夕をもよおす。諸先生以下出席者二十六
名の多數に及び、非常な盛會であつた。

人 事

昭和二十五年四月以來、國史研究室にあつて多くの成果をあげ
られた研究奨學生鈴木銳彦氏は、今回愛知學院大學講師になら
れ、三月二十七日赴任された。氏の健康と今後の活躍を祈つてや

まない。

東洋史學科の動向

人 事

昭和廿三年十月以來五年有餘の間、特に西日本史學會の創草期
の多事な研究室を守つてこられた船木勝馬助手は、三月末日を以
て退職された。戦後文字通りの再建の時期に當つて氏の盡された
陰の努力は大きなものがあつた。雑誌「東洋史學」の創刊もその
一つであり、今日数少い西域史研究者としての氏の貴重な論稿も
これに掲載せられた。舊來に見られぬ多數の學生を擁することゝ
なつた今日、氏の退職は惜みても餘りあるが、今後の精進を期待
して已まぬ次第である。

本年度の進學者は荒木弘明、石井久行、具島美知子、櫻井昌、
平野宗一郎の諸君、大學院には三月卒業の田籠楠雄、吉田早苗兩
君を迎えた。

第三十四回研究會 二月六日(土)

明洪武三十年の所謂遼東海運停止についての一考察 吉田 早苗

第三十五回研究會 三月三十一日(土)

五代楚國の中原貿易について 田籠 楠雄

第三十六回研究會 四月十七日(土)

大唐府兵制の成立過程とその意義についての一考察 菊池 英夫

(要旨はいづれも東洋史學十輯彙報)

新 刊

東洋史學 第九輯 昭和廿八年三月刊

目 次

遼東馬市起源

江 島 壽 雄

大唐租調惑察

乾と濕附白 — 唐未用語調の七 —

宋史食貨志譯注

東洋史學 第十輯 昭和廿八年五月刊

目次

唐未混亂史稿

東洋史學筆者別索引

日野 開三郎

日野 開三郎

研究 室員

日野 開三郎

西洋史學科の動向

人事

日本西洋史學會第五回大會開催準備と西日本史學會の事務という激務にもかかわらず、熱心に研究を續けられていた加藤弘助手は、四月一日付を以て大分大學學藝學部に榮轉された。氏の榮轉は喜ばしきことであるが、氏の如き良き指導者を失うことは我々にとつて寂しいことでもある。氏の今後の發展を期待する。尙お、福本保信氏が四月一日付を以て助手に任命された。

本年度の進學者は市林集和、川崎博子、小林宏、柴田宏泰、本村道生、安川正己、山本雅生、山本賢紀、鹿島邦子の諸君、大學院には井手伸雄、西嶋有厚、馬場典明の諸君を迎えた。

第三十四回西洋史研究會（一月十六日）

ロシア第一革命期における農民運動

第三十五回西洋史研究會（四月三十日）

ギルドソシヤリズムについて

加藤弘氏送別會（四月六日）

四月一日付を以て大分大學學藝學部に榮轉された本學助手加藤

西嶋 有厚

古賀 秀男

知弘氏の送別會を平尾にて催す筈であつたが雨の爲困惑途方に暮れる我々の爲に服部先生が特に和白の御宅を開放して下さい。

先生宅で暫し遊んでから和白濱に出た。夕刻、赤陽を背に受けながら鹽干刈に打ち興じ、やがて小波碎ける海岸沿いに白砂を踏みながら香椎迄逍遙した。同氏の今後の發展を期したい。

九州大學西洋史學論集第二輯發刊（四月一日）

執筆者及びその題目は次の如くである。

十六世紀レスタシャに於ける農業經營

十六世紀イングランドの農民抗爭

— 特に「恩寵の巡禮」(Pilgrimage of Grace)に就いて —

カルヴァン時代のジュネーヴに於ける教會と國家との關係について — 主として教會司法權をめぐつて —

デカブリストの性格に就いての一考察

昭和廿九年史學關係講義題目 自四月 至十月

史學概論

國史

特講

院廳政權の成立

古文書學

近世對外交渉史

日本思想史（明治時代）

同

同

同

同

同

同

同

同

小林 敬授

竹内 敬授

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

國史

西洋史

東洋史

考古學

演習 特殊演習(近世貿易資料) 箭内教授

同 後期封建社會演習 檜垣講師

同 明治國粹論演習 西尾講師

同 フランス産業革命史 小林教授

同 中世英國史 藤原講師

同 アメリカ史 服部講師

同 (未定) 長講師

同 M. Weber: Agrarverhältnisse im Altertum 小林教授

同 J. Kulscher: Allgemeine Wirtschaftsgeschichte Bd I 今來講師

同 M. Bloch Comment et pourquoi finit l'esclavage antique(Annales, janvier-mars 1917) 藤原講師

同 唐末稅制史 日野教授

同 宋初女眞の山東來航 同

同 清朝入關考 江嶋講師

同 英國の東印度商會と阿片戰爭 重松講師

同 舊唐書食貨志 日野教授

同 明末農民起義資料 江嶋講師

同 青銅器文化の諸問題 鏡山助教

同 考古學演習(一) 同

地理學 人文地理 米倉講師

國語學史 國語學史 福田教授

國文學史 日本近世文學史 春日講師

西洋哲學史 古代中世哲學史 杉浦教授

西洋哲學史(理性) 西洋哲學史 長澤教授

社會學說史 社會學說史 山本教授

フランス文學史 社會學說史 德里教授

西洋美術史 リーゲル的美術史論 永田助教

東洋美術史 東洋美術史 谷口助教

中國哲學史 中國哲學史特講 同

中國文學史 清朝文學史 楠本教授

印度哲學史 南方佛教史 山室助教

中亞佛教史 日本佛教史 目加田教授

同 同 干瀉教授

同 同 花山講師

同 同 具島教授

同 同 伊藤助教

同 同 西山教授

同 同 吉田教授

同 同 高木教授

同 同 秀村助教

史林 一三七號卷

京都大學史學會

龍谷史壇

第三八號

龍谷大學史學會

同 二七號卷

同 一橋學會

東洋文化史學研究

第十四號

東洋學會

同 三月號

同 同

歷史地理

八十四卷

日本歷史地理學會

同 四月號

同 同

愛知大學文學論叢

第八輯

愛知大學文學會

同 五月號

同 同

學藝紀要

第三卷

德島大學學藝學部

登米郡北

地域社會研究

社會科學論集

一

東京教育大學社會科學學會

方村 鹿大史學

學地理學教室

人文地理學

第三輯

同志社大學文化學年報

人文地理

同 同

人文學

第十輯

同志社大學人文學會

同 五卷五號

同 同

東方古代研究

第二號

熊本大學史學研究會

經濟理論

和歌山大學經濟學會

史潮

第五十號

大塚史學會

同 三十周年紀念號

同 同

史海

第一號

東京學藝大學史學會

岩手史學

岩手史學會

史

第一號

東京大學協會

歷史評論

民科歷史評論部

史

第四號

天理大學人文學會

同 四十九號

同 同

地學雜誌

第六卷

同 同

同 五十一號

同 同

天理大學報

第十一輯

同 同

彥根論叢

滋賀大學經濟學會

國史學

第十二輯

同 同

北大史學

北大史學會

國史學

第六二號

同 同

法學論叢

京都大學法學會

國史學

第七輯

同 同

東洋史研究

京都大學東洋史研究會

地域社會研究

第七輯

同 同

國學院雜誌

國學院大學

歷史社會研究會

第四號

同 同

同 五卷五號

同 同

龍谷古美術文獻目錄

一一二號

同 同

同 五卷五號

同 同

東京史談

一一二號

同 同

同 五卷五號

同 同

美術研究所

東京史談會

同 同

